

- 1 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見された、福岡県にある場所はどこ？

- 2 佐賀県に位置し、環濠集落の中でも大規模で、高床倉庫や物見やぐらが復元されていることで知られる遺跡は何という？

- 3 銅鐸が主な役割として使われた、豊作を祈るなどの行事を何という？

- 4 福岡県の志賀島で発見された金印を授けた、弥生時代の中国の王朝を何という？

- 5 弥生時代に大陸から伝わり、実用品ではなく主に祭祀の道具として使われた青銅器のうち、釣鐘のような形をしたものを何という？

- 6 奴国からの使節の来訪や金印の授与についての記述がある、中国の歴史書を何という？

- 7 3世紀頃、邪馬台国を治め、中国の魏に使者を送ったとされる女王は誰？

- 8 弥生時代に大陸から金属器とともに伝わり、それまでの採集中心の生活から定住型の社会へ変化させる大きな要因となった技術を何という？

- 9 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？

- 10 弥生時代に大陸から伝わり、武器としてではなく、祭祀や儀式の際に用いられた青銅製の釣り鐘型の道具を何という？

- 11 銅剣や銅矛が多く出土しており、銅鐸の主な出土地帯とは異なる特徴を持つ地域はどこ？

- 12 古代中国の記録などを通じて、当時の日本（倭）の状況を知ることができる資料のうち、出来事や制度を記録した書物を何という？

- 13 江戸時代に金印が発見されたと伝えられている、現在の福岡県にある島は何という？

- 14 佐賀県にあり、周囲に濠（ほり）を巡らせた弥生時代の集落跡として知られる代表的な遺跡を何という？

- 15 『後漢書』東夷伝などの歴史書において、弥生時代の日本列島に多数存在していたとされる政治的なまとまりを何という？

- 16 金印が作られた紀元1世紀頃、地中海を中心に繁栄していた当時の巨大な帝国を何という？

- 17 弥生時代に祭祀の道具として用いられ、指導者の地位の高さを示す象徴となった釣鐘状の青銅器を何という？

- 18 高床倉庫の柱に取り付けられた、ネズミが倉庫の中に侵入するのを防ぐための工夫を何という？

- 19 1世紀に日本の奴国の王から使者が送られた際、返礼として金印を授けた後漢の皇帝は誰？

- 20 弥生時代に北部九州を中心に多く出土している、中国から輸入された鏡を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	後漢の光武帝から授けられたとされる「漢委奴国王」の金印は、江戸時代、福岡県の <u>志賀島</u> で農作業中に偶然発見されたと伝えられています。		<u>志賀島</u>	☐
2	<u>吉野ケ里遺跡</u> は、周囲に深い堀（環濠）を巡らせ、外敵の侵入を防ぐ構造を持つ大規模な集落跡です。		<u>吉野ケ里遺跡</u>	☐
3	銅鐸は、このような <u>祭り</u> の場で、神聖な音を出したり、掲げられたりすることで、人々を統率し豊作を祈るために使われました。		<u>祭り</u>	☐
4	志賀島で発見された「漢委奴国王」と刻まれた金印は、1世紀頃、 <u>後漢</u> の光武帝が日本の使者に授けたものと考えられています。		<u>後漢</u>	☐
5	<u>銅鐸</u> は主に近畿地方を中心に多く出土しており、祭祀の道具として用いられました。		<u>銅鐸</u>	☐
6	『 <u>後漢書</u> 』は、後漢時代の出来事をまとめた中国の歴史書です。		<u>後漢書</u>	☐
7	<u>卑弥呼</u> は「鬼道」と呼ばれる呪術を用いて人々を統治した女王です。		<u>卑弥呼</u>	☐
8	<u>稲作</u> が定着したことで、人々は安定した食料を得られるようになり、収穫の時期に合わせて同じ場所に住み続ける定住生活が始まりました。		<u>稲作</u>	☐
9	魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『 <u>魏志倭人伝</u> 』と呼ばれます。		<u>魏志倭人伝</u>	☐
10	<u>銅鐸</u> は、主に近畿地方を中心に分布しており、弥生時代の村の共同体で行われる祭りや儀式に使われたと考えられています。		<u>銅鐸</u>	☐
11	青銅器の中でも、銅剣・銅矛は九州北部を中心とする西日本に、銅鐸は近畿地方を中心に多く出土し、文化圏がはっきり分かれていました。		<u>九州地方</u>	☐
12	『後漢書』や『魏志倭人伝（三国志）』などが代表的な <u>歴史書</u> です。		<u>歴史書</u>	☐
13	福岡県の <u>志賀島</u> で、農作業の最中に石の間から金印が発見されたと伝えられています。		<u>志賀島</u>	☐
14	<u>吉野ケ里遺跡</u> は、周囲に二重の環濠と柵をめぐらせた巨大な集落跡です。		<u>吉野ケ里遺跡</u>	☐
15	当時の日本は「百余りの <u>小国</u> 」に分かれていたと『後漢書』などに記されています。		<u>小国</u>	☐
16	<u>ローマ帝国</u> は、地中海沿岸の全域を支配下に置き、高度な法整備や道路網、水道技術などを有していました。		<u>ローマ帝国</u>	☐
17	<u>銅鐸</u> は青銅製の釣鐘状の道具で、当初は小型でしたが、次第に大型化しました。		<u>銅鐸</u>	☐
18	柱の途中に板状の出っ張り（ <u>ネズミ返し</u> ）を取り付けることで、地面から登ってくるネズミがそれ以上進めないように工夫されていました。		<u>ネズミ返し</u>	☐
19	当時の日本の「奴国」の王が、後漢の都に使者を派遣しました。それに対して、皇帝である <u>光武帝</u> は、親交のしるしとして「漢委奴国王」と刻まれた金印を授けました。		<u>光武帝</u>	☐
20	<u>漢鏡</u> は、中国の漢王朝で鑄造された銅鏡で、高い鑄造技術による精巧な文様が特徴です。		<u>漢鏡</u>	☐

言えなかった用語ノート

- 1 弥生時代に作られた銅剣や銅矛などの青銅器は、主に何という儀式の道具として発展した？
- 2 1世紀に日本の奴国の王から使者が送られた際、返礼として金印を授けた後漢の皇帝は誰？
- 3 佐賀県に位置し、環濠集落の中でも大規模で、高床倉庫や物見やぐらが復元されていることで知られる遺跡は何という？
- 4 弥生時代に大陸から伝わり、武器としてではなく、祭祀や儀式の際に用いられた青銅製の釣り鐘型の道具を何という？
- 5 銅剣や銅矛が多く出土しており、銅鐸の主な出土地帯とは異なる特徴を持つ地域はどこ？
- 6 奴国からの使節の来訪や金印の授与についての記述がある、中国の歴史書を何という？
- 7 弥生時代に北部九州を中心に多く出土している、中国から輸入された鏡を何という？
- 8 弥生時代に導入された金属器のうち、硬度が高く、刃先などの実用的な道具として生産力の向上に貢献したものを何という？
- 9 57年に奴国の使者が訪れ、金印を授けたとされる後漢の皇帝を何という？
- 10 高床倉庫の柱に取り付けられた、ネズミが倉庫の中に侵入するのを防ぐための工夫を何という？
- 11 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？
- 12 縄文土器と比べて薄く作られ、煮炊きに適していたのはどのような温度で焼かれたから？
- 13 弥生時代、北部九州を中心に祭りの道具として使われた、やりのような形をした青銅器を何という？
- 14 『後漢書』東夷伝などの歴史書において、弥生時代の日本列島に多数存在していたとされる政治的なまとまりを何という？
- 15 弥生時代において、祭礼や儀式を行うために用いられた道具のうち、銅鐸や銅鏡などを総称して何という？
- 16 弥生時代、奴国の使者が金印を授かった、当時の中国の王朝を何という？
- 17 弥生時代に祭礼の道具として用いられ、指導者の地位の高さを示す象徴となった釣り鐘状の青銅器を何という？
- 18 稲作が普及して富や権力に差が生まれた弥生時代、地域をまとめる存在として現れたまとまりを何という？
- 19 弥生時代に大陸から金属器とともに伝わり、それまでの採集中心の生活から定住型の社会へ変化させる大きな要因となった技術を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	青銅器である銅剣や銅矛は、鋭い刃を持ちながらも実用には適さない繊細なものも多く、主に <u>祭祀</u> の場で神聖な道具として使われました。		<u>祭祀</u>	☐
2	当時の日本の「奴国」の王が、後漢の都に使者を派遣しました。それに対して、皇帝である <u>光武帝</u> は、親交のしるしとして「漢委奴国王」と刻まれた金印を授けました。		<u>光武帝</u>	☐
3	<u>吉野ヶ里遺跡</u> は、周囲に深い堀（環濠）を巡らせ、外敵の侵入を防ぐ構造を持つ大規模な集落跡です。		<u>吉野ヶ里遺跡</u>	☐
4	<u>銅鐸</u> は、主に近畿地方を中心に分布しており、弥生時代の村の共同体で行われる祭りや儀式に使われたと考えられています。		<u>銅鐸</u>	☐
5	青銅器の中でも、銅剣・銅矛は九州北部を中心とする西日本に、銅鐸は近畿地方を中心に多く出土し、文化圏がはっきり分かれていました。		<u>九州地方</u>	☐
6	『 <u>後漢書</u> 』は、後漢時代の出来事をまとめた中国の歴史書です。		<u>後漢書</u>	☐
7	<u>漢鏡</u> は、中国の漢王朝で鑄造された銅鏡で、高い鑄造技術による精巧な文様が特徴です。		<u>漢鏡</u>	☐
8	<u>鉄器</u> は主に農具の刃先や、武器としての剣や矛などに加工されました。		<u>鉄器</u>	☐
9	<u>光武帝</u> は、57年に九州の奴国から訪れた使者に対し、朝貢の返礼として金印を授けました。		<u>光武帝</u>	☐
10	柱の途中に板状の出っ張り（ <u>ネズミ返し</u> ）を取り付けることで、地面から登ってくるネズミがそれ以上進めないように工夫されていました。		<u>ネズミ返し</u>	☐
11	魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『 <u>魏志倭人伝</u> 』と呼ばれます。		<u>魏志倭人伝</u>	☐
12	<u>高温</u> で焼くことで強度が上がり、煮炊きに適した薄い土器を大量に作ることができました。		<u>高温</u>	☐
13	<u>銅矛</u> は、九州地方で出土することが多い青銅製の武器型祭器です。		<u>銅矛</u>	☐
14	当時の日本は「百余りの <u>小国</u> 」に分かれていたと『後漢書』などに記されています。		<u>小国</u>	☐
15	<u>青銅器</u> は主に銅鐸や銅鏡、銅剣などに鑄造され、それらが高い装飾性を持っていたことから、主に集落の祭礼や儀式、または権力者の威信を示すための道具として使われました。		<u>青銅器</u>	☐
16	57年、九州の奴国の使者が中国の王朝である <u>後漢</u> の皇帝を訪れ、朝貢を行いました。		<u>後漢</u>	☐
17	<u>銅鐸</u> は青銅製の釣鐘状の道具で、当初は小型でしたが、次第に大型化しました。		<u>銅鐸</u>	☐
18	この争いに勝った有力者が周辺の集落を統合し、「 <u>クニ</u> 」と呼ばれる政治的なまとまりを作りました。		<u>クニ</u>	☐
19	<u>稲作</u> が定着したことで、人々は安定した食料を得られるようになり、収穫の時期に合わせて同じ場所に住み続ける定住生活が始まりました。		<u>稲作</u>	☐

言えなかった用語ノート

- 1 奴国からの使節の来訪や金印の授与についての記述がある、中国の歴史書を何という？
- 2 1世紀、後漢の時代に倭の奴国の王が使節を送った際に、その権威を認めて印を授けた皇帝を何という？
- 3 江戸時代に金印が発見されたと伝えられている、現在の福岡県にある島は何という？
- 4 古代中国の記録などを通じて、当時の日本（倭）の状況を知ることができる資料のうち、出来事や制度を記録した書物を何という？
- 5 弥生時代に祭礼の道具として用いられ、指導者の地位の高さを示す象徴となった釣鐘状の青銅器を何という？
- 6 福岡県の志賀島で発見された金印を授けた、弥生時代の中国の王朝を何という？
- 7 弥生時代に導入された金属器のうち、硬度が高く、刃先などの実用的な道具として生産力の向上に貢献したものを何という？
- 8 弥生時代に作られた銅剣や銅矛などの青銅器は、主に何という儀式の道具として発展した？
- 9 弥生時代に北部九州を中心に多く出土している、中国から輸入された鏡を何という？
- 10 佐賀県に位置し、環濠集落の中でも大規模で、高床倉庫や物見やぐらが復元されていることで知られる遺跡は何という？
- 11 福岡県の志賀島で発見され、1世紀に中国の皇帝から日本の王に贈られたことを示す重要な遺物を何という？
- 12 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見された、福岡県にある場所はどこ？
- 13 弥生時代の日本が、中国の王朝へ進んだ文化や権威を求めて使者を送り、贈り物や献上品を送る外交形式を何という？
- 14 稲作が普及して富や権力に差が生まれた弥生時代、地域をまとめる存在として現れたまとまりを何という？
- 15 弥生時代に大陸から金属器とともに伝わり、それまでの採集中心の生活から定住型の社会へ変化させる大きな要因となった技術を何という？
- 16 1世紀に日本の奴国の王から使者が送られた際、返礼として金印を授けた後漢の皇帝は誰？
- 17 佐賀県にあり、周囲に濠（ほり）を巡らせた弥生時代の集落跡として知られる代表的な遺跡を何という？
- 18 銅剣や銅矛が多く出土しており、銅鐸の主な出土地帯とは異なる特徴を持つ地域はどこ？
- 19 弥生時代、奴国の使者が金印を授かった、当時の中国の王朝を何という？
- 20 金印が作られた紀元1世紀頃、地中海を中心に繁栄していた当時の巨大な帝国を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	『後漢書』は、後漢時代の出来事をまとめた中国の歴史書です。		後漢書	☐
2	『後漢書』東夷伝によれば、57年に倭の奴国の使者が後漢の光武帝に謁見し、朝貢しました。		光武帝	☐
3	福岡県の志賀島で、農作業の最中に石の間から金印が発見されたと伝えられています。		志賀島	☐
4	『後漢書』や『魏志倭人伝（三国志）』などが代表的な歴史書です。		歴史書	☐
5	銅鐸は青銅製の釣鐘状の道具で、当初は小型でしたが、次第に大型化しました。		銅鐸	☐
6	志賀島で発見された「漢委奴国王」と刻まれた金印は、1世紀頃、後漢の光武帝が日本の使者に授けたものと考えられています。		後漢	☐
7	鉄器は主に農具の刃先や、武器としての剣や矛などに加工されました。		鉄器	☐
8	青銅器である銅剣や銅矛は、鋭い刃を持ちながらも実用には適さない繊細なものも多く、主に祭祀の場で神聖な道具として使われました。		祭祀	☐
9	漢鏡は、中国の漢王朝で鑄造された銅鏡で、高い鑄造技術による精巧な文様が特徴です。		漢鏡	☐
10	吉野ヶ里遺跡は、周囲に深い堀（環濠）を巡らせ、外敵の侵入を防ぐ構造を持つ大規模な集落跡です。		吉野ヶ里遺跡	☐
11	1784年、福岡県の志賀島で農夫によって発見されました。		金印	☐
12	後漢の光武帝から授けられたとされる「漢委奴国王」の金印は、江戸時代、福岡県の志賀島で農作業中に偶然発見されたと伝えられています。		志賀島	☐
13	朝貢は、中国の皇帝に対して周辺諸国の支配者が使者を派遣し、贈り物（貢ぎ物）を差し出す外交儀礼です。		朝貢	☐
14	この争いに勝った有力者が周辺の集落を統合し、「クニ」と呼ばれる政治的なまとまりを作りました。		クニ	☐
15	稲作が定着したことで、人々は安定した食料を得られるようになり、収穫の時期に合わせて同じ場所に住み続ける定住生活が始まりました。		稲作	☐
16	当時の日本の「奴国」の王が、後漢の都に使者を派遣しました。それに対して、皇帝である光武帝は、親交のしるしとして「漢委奴国王」と刻まれた金印を授けました。		光武帝	☐
17	吉野ヶ里遺跡は、周囲に二重の環濠と柵をめぐらせた巨大な集落跡です。		吉野ヶ里遺跡	☐
18	青銅器の中でも、銅剣・銅矛は九州北部を中心とする西日本に、銅鐸は近畿地方を中心に多く出土し、文化圏がはっきり分かれていました。		九州地方	☐
19	57年、九州の奴国の使者が中国の王朝である後漢の皇帝を訪れ、朝貢を行いました。		後漢	☐
20	ローマ帝国は、地中海沿岸の全域を支配下に置き、高度な法整備や道路網、水道技術などを有していました。		ローマ帝国	☐

言えなかった用語ノート

- 1 福岡県の志賀島で発見された金印を授けた、弥生時代の中国の王朝を何という？

- 2 弥生時代に大陸から金属器とともに伝わり、それまでの採集中心の生活から定住型の社会へ変化させる大きな要因となった技術を何という？

- 3 3世紀頃、邪馬台国を治め、中国の魏に使臣を送ったとされる女王は誰？

- 4 弥生時代において、祭礼や儀式を行うために用いられた道具のうち、銅鐸や銅鏡などを総称して何という？

- 5 弥生時代に導入された金属器のうち、硬度が高く、刃先などの実用的な道具として生産力の向上に貢献したものを何という？

- 6 弥生時代に大陸から伝わり、銅剣や銅矛などの作成に用いられた技術のことを何という？

- 7 銅剣や銅矛が多く出土しており、銅鐸の主な出土地帯とは異なる特徴を持つ地域はどこ？

- 8 高床倉庫の柱に取り付けられた、ネズミが倉庫の中に侵入するのを防ぐための工夫を何という？

- 9 弥生時代に作られた銅剣や銅矛などの青銅器は、主に何という儀式の道具として発展した？

- 10 佐賀県にあり、周囲に濠（ほり）を巡らせた弥生時代の集落跡として知られる代表的な遺跡を何という？

- 11 佐賀県に位置し、環濠集落の中でも大規模で、高床倉庫や物見やぐらが復元されていることで知られる遺跡は何という？

- 12 弥生時代に北部九州を中心に多く出土している、中国から輸入された鏡を何という？

- 13 奴国からの使節の来訪や金印の授与についての記述がある、中国の歴史書を何という？

- 14 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？

- 15 弥生時代に祭礼の道具として用いられ、指導者の地位の高さを示す象徴となった釣鐘状の青銅器を何という？

- 16 『後漢書』東夷伝などの歴史書において、弥生時代の日本列島に多数存在していたとされる政治的なまとまりを何という？

- 17 57年に奴国の使者が訪れ、金印を授けたとされる後漢の皇帝を何という？

- 18 弥生時代、奴国の使者が金印を授かった、当時の中国の王朝を何という？

- 19 金印が作られた紀元1世紀頃、地中海を中心に繁栄していた当時の巨大な帝国を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	志賀島で発見された「漢委奴国王」と刻まれた金印は、1世紀頃、 後漢 の光武帝が日本の使者に授けたものと考えられています。		後漢	☐
2	稲作 が定着したことで、人々は安定した食料を得られるようになり、収穫の時期に合わせて同じ場所に住み続ける定住生活が始まりました。		稲作	☐
3	卑弥呼 は「鬼道」と呼ばれる呪術を用いて人々を統治した女王です。		卑弥呼	☐
4	青銅器 は主に銅鐸や銅鏡、銅剣などに鑄造され、それらが高い装飾性を持っていたことから、主に集落の祭礼や儀式、または権力者の威信を示すための道具として使われました。		青銅器	☐
5	鉄器 は主に農具の刃先や、武器としての剣や矛などに加工されました。		鉄器	☐
6	金属器 には主に銅製品（青銅器）と鉄製品がありました。		金属器	☐
7	青銅器の中でも、銅剣・銅矛は九州北部を中心とする西日本に、銅鐸は近畿地方を中心に多く出土し、文化圏がはっきり分かれていました。		九州地方	☐
8	柱の途中に板状の出っ張り（ ネズミ返し ）を取り付けることで、地面から登ってくるネズミがそれ以上進めないように工夫されていました。		ネズミ返し	☐
9	青銅器である銅剣や銅矛は、鋭い刃を持ちながらも実用には適さない繊細なものも多く、主に 祭祀 の場で神聖な道具として使われました。		祭祀	☐
10	吉野ヶ里遺跡 は、周囲に二重の環濠と柵をめぐらせた巨大な集落跡です。		吉野ヶ里遺跡	☐
11	吉野ヶ里遺跡 は、周囲に深い堀（環濠）を巡らせ、外敵の侵入を防ぐ構造を持つ大規模な集落跡です。		吉野ヶ里遺跡	☐
12	漢鏡 は、中国の漢王朝で鑄造された銅鏡で、高い鑄造技術による精巧な文様が特徴です。		漢鏡	☐
13	『 後漢書 』は、後漢時代の出来事をまとめた中国の歴史書です。		後漢書	☐
14	魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『 魏志倭人伝 』と呼ばれます。		魏志倭人伝	☐
15	銅鐸 は青銅製の釣鐘状の道具で、当初は小型でしたが、次第に大型化しました。		銅鐸	☐
16	当時の日本は「百余りの 小国 」に分かれていたと『後漢書』などに記されています。		小国	☐
17	光武帝 は、57年に九州の奴国から訪れた使者に対し、朝貢の返礼として金印を授けました。		光武帝	☐
18	57年、九州の奴国の使者が中国の王朝である 後漢 の皇帝を訪れ、朝貢を行いました。		後漢	☐
19	ローマ帝国 は、地中海沿岸の全域を支配下に置き、高度な法整備や道路網、水道技術などを有していました。		ローマ帝国	☐

言えなかった用語ノート

- 1 弥生時代の日本が、中国の王朝へ進んだ文化や権威を求めて使者を送り、贈り物や献上品を送る外交形式を何という？
- 2 弥生時代に祭礼の道具として用いられ、指導者の地位の高さを示す象徴となった釣鐘状の青銅器を何という？
- 3 弥生時代に大陸から金属器とともに伝わり、それまでの採集中心の生活から定住型の社会へ変化させる大きな要因となった技術を何という？
- 4 3世紀頃、邪馬台国を治め、中国の魏に使者を送ったとされる女王は誰？
- 5 金印が作られた紀元1世紀頃、地中海を中心に繁栄していた当時の巨大な帝国を何という？
- 6 古代中国の記録などを通じて、当時の日本（倭）の状況を知ることができる資料のうち、出来事や制度を記録した書物を何という？
- 7 弥生時代において、祭礼や儀式を行うために用いられた道具のうち、銅鐸や銅鏡などを総称して何という？
- 8 佐賀県にあり、周囲に濠（ほり）を巡らせた弥生時代の集落跡として知られる代表的な遺跡を何という？
- 9 収穫した稲を湿気や害獣から守るために、床を高くしてつくられた、弥生時代の倉庫を何という？
- 10 福岡県の志賀島で発見された金印を授けた、弥生時代の中国の王朝を何という？
- 11 57年に奴国の使者が訪れ、金印を授けたとされる後漢の皇帝を何という？
- 12 1世紀、後漢の時代に倭の奴国の王が使節を送った際に、その権威を認めて印を授けた皇帝を何という？
- 13 弥生時代に大陸から伝わり、銅剣や銅矛などの作成に用いられた技術のことを何という？
- 14 銅鐸が主な役割として使われた、豊作を祈るなどの行事を何という？
- 15 江戸時代に金印が発見されたと伝えられている、現在の福岡県にある島は何という？
- 16 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？
- 17 弥生時代に大陸から伝わり、武器としてではなく、祭祀や儀式の際に用いられた青銅製の釣り鐘型の道具を何という？
- 18 1世紀に日本の奴国の王から使者が送られた際、返礼として金印を授けた後漢の皇帝は誰？
- 19 弥生時代に北部九州を中心に多く出土している、中国から輸入された鏡を何という？
- 20 縄文土器と比べて薄く作られ、煮炊きに適していたのはどのような温度で焼かれたから？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	朝貢 は、中国の皇帝に対して周辺諸国の支配者が使者を派遣し、贈り物（貢ぎ物）を差し出す外交儀礼です。		朝貢	☐
2	銅鐸 は青銅製の釣鐘状の道具で、当初は小型でしたが、次第に大型化しました。		銅鐸	☐
3	稲作 が定着したことで、人々は安定した食料を得られるようになり、収穫の時期に合わせて同じ場所に住み続ける定住生活が始まりました。		稲作	☐
4	卑弥呼 は「鬼道」と呼ばれる呪術を用いて人々を統治した女王です。		卑弥呼	☐
5	ローマ帝国 は、地中海沿岸の全域を支配下に置き、高度な法整備や道路網、水道技術などを有していました。		ローマ帝国	☐
6	『後漢書』や『魏志倭人伝（三国志）』などが代表的な 歴史書 です。		歴史書	☐
7	青銅器 は主に銅鐸や銅鏡、銅剣などに鑄造され、それらが高い装飾性を持っていたことから、主に集落の祭礼や儀式、または権力者の威信を示すための道具として使われました。		青銅器	☐
8	吉野ヶ里遺跡 は、周囲に二重の環濠と柵をめぐらせた巨大な集落跡です。		吉野ヶ里遺跡	☐
9			高床倉庫	☐
10	志賀島で発見された「漢委奴国王」と刻まれた金印は、1世紀頃、 後漢 の光武帝が日本の使者に授けたものと考えられています。		後漢	☐
11	光武帝 は、57年に九州の奴国から訪れた使者に対し、朝貢の返礼として金印を授けました。		光武帝	☐
12	『後漢書』東夷伝によれば、57年に倭の奴国の使者が後漢の 光武帝 に謁見し、朝貢しました。		光武帝	☐
13	金属器 には主に銅製品（青銅器）と鉄製品がありました。		金属器	☐
14	銅鐸は、このような 祭り の場で、神聖な音を出したり、掲げられたりすることで、人々を統率し豊作を祈るために使われました。		祭り	☐
15	福岡県の 志賀島 で、農作業の最中に石の間から金印が発見されたと伝えられています。		志賀島	☐
16	魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『 魏志倭人伝 』と呼ばれます。		魏志倭人伝	☐
17	銅鐸 は、主に近畿地方を中心に分布しており、弥生時代の村の共同体で行われる祭りや儀式に使われたと考えられています。		銅鐸	☐
18	当時の日本の「奴国」の王が、後漢の都に使者を派遣しました。それに対して、皇帝である 光武帝 は、親交のしるしとして「漢委奴国王」と刻まれた金印を授けました。		光武帝	☐
19	漢鏡 は、中国の漢王朝で鑄造された銅鏡で、高い鑄造技術による精巧な文様が特徴です。		漢鏡	☐
20	高温 で焼くことで強度が上がり、煮炊きに適した薄い土器を大量に作ることができました。		高温	☐

言えなかった用語ノート